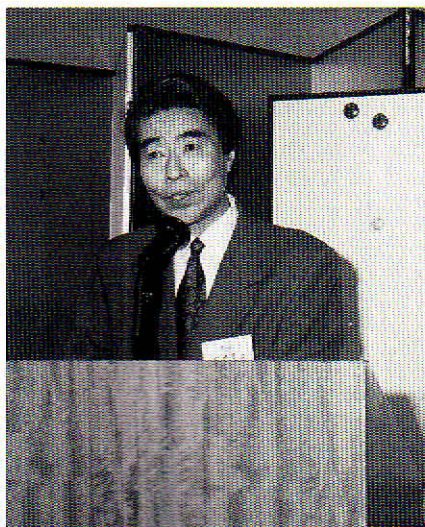


●会計報告●

秋田県立能代高校東京同窓会会計監事

村井克自氏 新制四期



新制四期の村井といいます。ちよつと時間も押しているようですので、簡単に報告させていただきます。お手元のパンフレットの2ページ目を開いてください。平成六年度収支決算報告書がございます。……いかがでございますでしょうか。

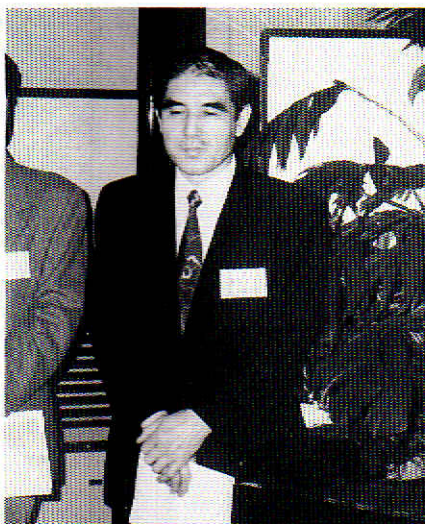
今年度は、特別な事業もなく、また残念なことに、母校の甲子園出場などといった特記事項もありませんでした。したがって、特に補足してご説明申し上げなければならぬこともございません。ここに記載されている通りです。九月三十日に、帳簿その他を完成して、この通り相違ないことを、しっかりと確かめて参りましたので、その旨ここに報告いたします。何かご質問などございましたら、懇親会の時にも承ります。

ごくごく簡単ではございますが、これを収支決算報告とさせていただきます。

●事務局報告●

秋田県立能代高校東京同窓会事務局長

八柳昭義氏 新制八期



事務局からの報告をさせていただきます。パンフレットの幹事会の活動報告のところをご覧ください。ここ数年、能代市内および近隣の他校同窓会との親睦を深め、いろいろ情報交換などにつとめて参りました。その関係で、先日、新たに鷹巣農林高校東京同窓会の総会に招待されました。

先ほど会長からのお話にもありましたが、今年度は、能代北高、能代商高、能代工高、能代西高と改称された旧能代農高、鷹巣農林高の幹部のみなさんのご出席を頂いております。残念ながら二ツ井高のみなさんは、あいにくのご都合で、ご出席頂けないとの知らせを受けております。このような交流によって、同窓会の運営方法や同窓生の消息確認など、いろいろな情報交換を重ねることによって、お互いの同窓会の向上を図るという意向でございます。

また、秋田県高校同窓会連合会（略称・秋高

連）というのが年一回ありますが、これにも参加しまして、広く県内各高校の東京同窓会のみな様との親睦を深め、情報交換の場とすることにしております。

私たちの同窓幹事会は二カ月ごと（偶数月）に開催しまして、会の運営、活動に関して協議を重ねております。パンフには、一応各期の幹事のお名前を列記させて頂いておりますが、正直に申し上げますと、この名簿は正確ではありません。実は、幹事会に出席頂いた方は、すぐさまその場で幹事でございます。

年六回ともなりますと、特定の方々だけが出席するのは、なかなか困難な事情もあろうかと存じます。幹事会の開催の日時を小耳にはさんだ方は、どなたでもご出席ください。そして、ややもするとマンネリになりがちな幹事会に、大いに新風を吹き込んでください。

同期会のほうは、期によっては、なかなかの盛況を見ているという噂も聞きます。同期会もけっこうですが、その同期会の緊密な横のつながりを同窓会に持ち込んで、縦のつながりを構築して頂く。そして、縦横に密度の濃い、ポリウム感あふれる同窓会にする。これがわれわれ同窓会の、当面の課題でもあると考えております。

本日はじめての方々もいらつしやると思いますので、一応役員を紹介させていただきますので、役員はそれぞれ起立を願います。なお、腰山顧問はご都合が悪く、本日欠席されております。

会長 小林 肇（旧制十九期） 副会長 近藤 誠（旧制十六期） 副会長 太田勝治（新制十一期） 副会長 高田正勝（新制十四期） 副会長 菅原 渉（新制二十一期） 会計監事 村井克自（新制六期） 会報編集長 杉崎孝雄（新制八期）

そして、私が事務局長を努めます。八柳昭義、新制八期でございます。



秋田県立能代高校同窓会副会長

続 隆氏 新制三期

例年の通り盛会の東京同窓会総会にお招きを頂きまして、みな様の強い連帯感と深い友情に大変感激している次第です。本来ならば、神馬同窓会会長がご挨拶申し上げますところですが、都合により、私が代理を努めさせていただきます。先日、能代市におきまして本部同窓会総会がございました。ご多忙のところ、小林東京同窓会会長には、遠路ご参加頂きました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

来年(平成七年)は、わが母校能代高校の創立七十周年の記念すべき年であります。昨年十月下旬、同窓生、PTA役員、学校職員よりなる七十周年記念事業実行委員会が結成されました。会議を重ねることで、記念式典の日時が決まりましたので、ご報告申し上げます。日時は平成七年九月二二日(金曜日)でございます。ぜひ友人多数誘い合わせてご参加くださるようお願い申し上げます。会場は能代市文化会

館の大ホールですが、ここは懐かしの樽子山。あの木造校舎の跡に建った文化会館を式場とします。東京同窓会からも多数参加くださるよう、重ねてお願いいたします。

十時から記念式典、十一時から記念講演会、午後一時からは会場を平安閣に移して記念祝賀会を予定しております。なお、講演者は東京同窓会会員の水木初彦さんです。水木さんは東大時代にボート選手としてローマ・オリンピックに出場し、現在は朝日新聞の東京本社総務企画室長として活躍でございます。



秋田県立能代高校教頭

鈴木 進先生

本日は東京同窓会にお招き頂きまして、ありがとうございます。急用で出席できなくなつた小野寺校長からも、みな様にぜひよろしくとのことでございます。

能代高校は、平成四年度の硬式・軟式野球部の全国大会アベック出場以後、若干低迷を続けておりますが、硬式野球部は、今年の秋の新人

七十周年の記念事業として、同窓会会員名簿の刊行、七十年の歴史を刻んだ記念碑の完成など八つの行事を計画し、各部門ごとに着々と進行中です。昨年の十二月と本年六月と二回に渡って募金をお願いしたわけですが、すでに募金をしていただきました同窓生各位には、この場をお借りしまして、深く厚く御礼申し上げます。そのほか、みな様の常日頃のご協力と母校に寄せるご好意に、深く感謝申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

戦では目ざましい活躍が見られました。平成七年の七十周年には、十分期待のもてるチームでございます。軟式野球部も練習試合において、現在まで負け知らずの成績をあげております。これまた大いに期待できると思えます。

そのほかの運動部、文化部の活躍もそれぞれに目ざましいものがあります。

例えば、先日の本校文化公演会では「ブレ七十年周年企画」として、本校出身で、現在名古屋芸術大学教授でいらつしやる岩森榮助先生をお招きして、先生のバリトン・リサイタルを、文化会館大ホールで催させて頂きました。

全校生徒、職員をはじめ先生の級友、恩師など約千二百人を前に、「木鬼」「泊り船」など全十六曲。中には日本民謡集からの「南部牛追い唄」など方言を交えたユニークな曲も披露、会場の笑いを誘うとともに力強く、温かく響く歌声によつてホールを埋める聴衆を魅了しました。この企画にいろいろご尽力を頂きました関係各位に、心から御礼申し上げます。

最後に、東京同窓会会員のみな様の力強いお顔を拝見いたしまして、能代高校の明るい前途を見た思いがいたします。今後ともよろしくご指導のほどお願いいたします。